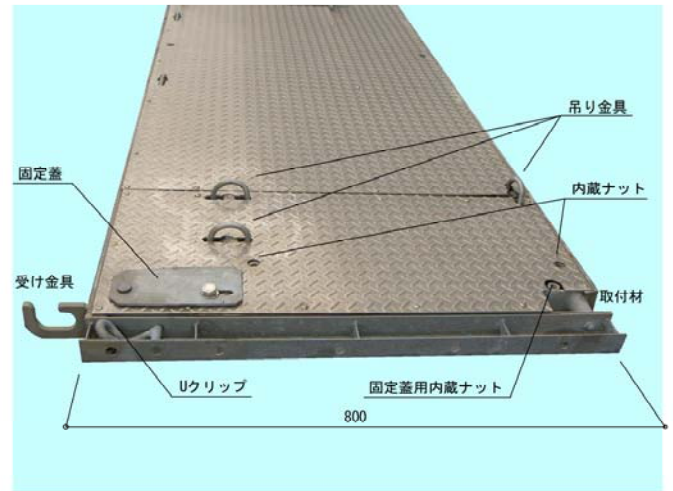
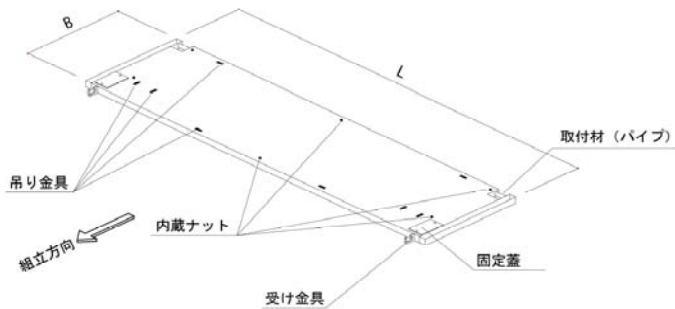


パネル式吊足場 ベスパ

取扱説明書



ベスパ各部名称



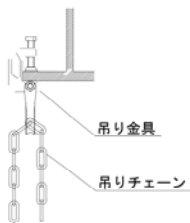
BESPA機種

機種	L	B	重量 (kg)
BSP-2008	2,000	800	29.4
BSP-2508	2,500	800	34.9
BSP-3008	3,000	800	40.5
BSP-3508	3,500	800	46.2

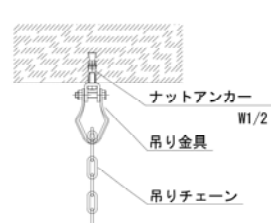
吊り元を設ける

吊りチェーンを架ける為の吊り元を設ける。

鋼桁の場合



コンクリート橋の場合



ナットアンカーはW1/2を使用のこと

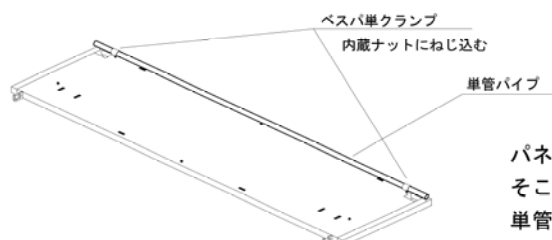
吊り金具の種類

機種	用途	伸縮機能
AHC-87B	コンクリート用	無
AHC-87BL	コンクリート用	有
AHC-37	鉄骨用 有効厚 37mm	無
AHC-65	鉄骨用 有効厚 65mm	無
AHC-37L	鉄骨用 有効厚 37mm	有
AHC-65L	鉄骨用 有効厚 65mm	有



高所作業車を使用できる場合、吊元を先行させておくことで作業効率が良い。

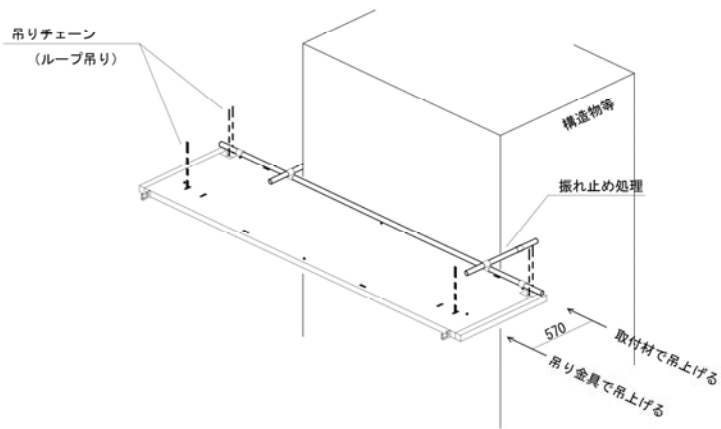
地上にて最初に取り付けるパネルにベスパ単クランプを用いて単管パイプを取付ける。



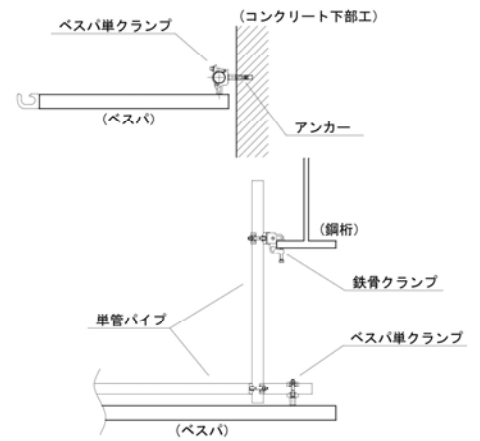
パネルに内蔵されたナットにベスパ単クランプをねじ込み、そこへ単管パイプを取付ける。単管パイプは横に飛び出さないようにする。次の列のパネルを取付ける際に邪魔になります。

1 列目の 1 枚目パネルを架設する。

1 列目の 1 枚目パネルの架設はチェーン 4 本を使って吊り下げる。
1 枚目は構造物、足場等にパネルが振れないように固定する。

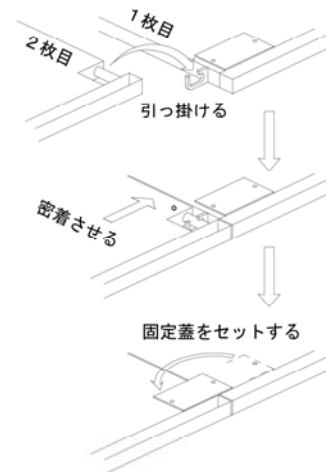
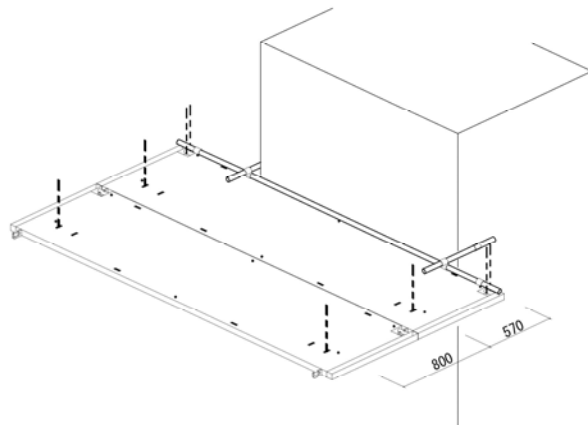


固定方法の例

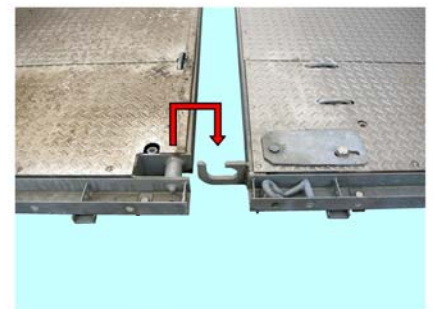
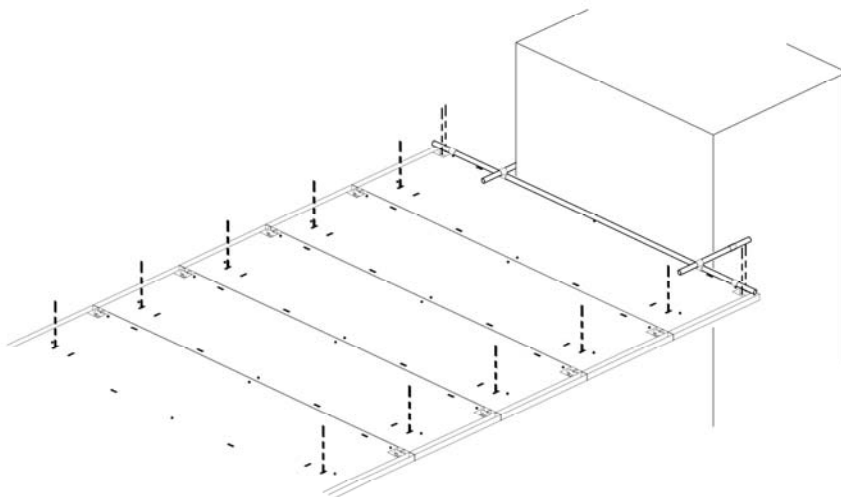


1 枚目パネルの受け金具へ 2 枚目の取付材を引っ掛け架設する。

1 列目の 2 枚目パネルは 2 本の吊りチェーンで架設する。
1 枚目に密着させ固定蓋をセットする。

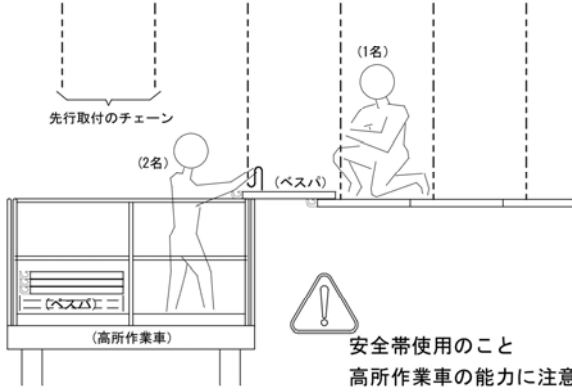


2 枚目の要領で 3 枚目以降を架設する。

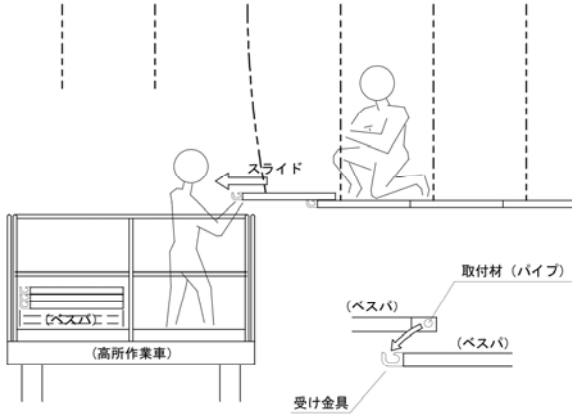


高所作業車を使用する場合

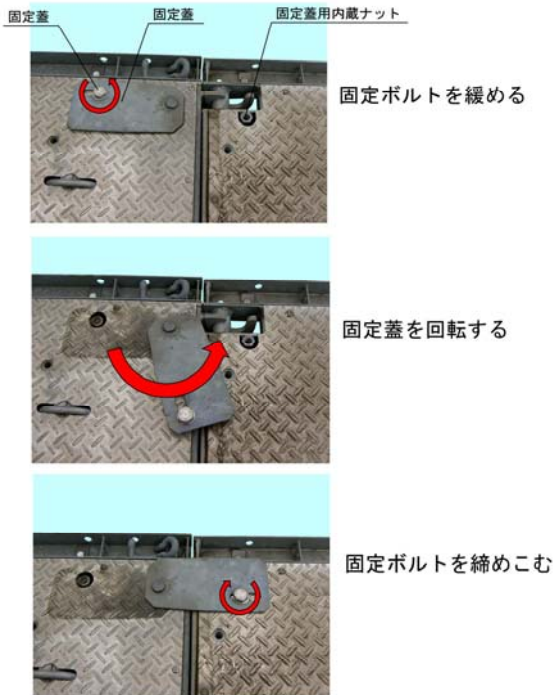
1. 高所作業車を使い、事前にチェーン吊具、チェーンを取付けておく
2. 高所作業車にベスパを数枚積載し、作業員2名と共に組立中パネルの前面に上昇する。
足場上の1名の作業員の補助のもとに新しいベスパの端部を架設済ベスパに仮置きし、チェーンを取付ける（2本）



3. 仮置きしたベスパをスライドし架設済のベスパの受金具に落とし込む。

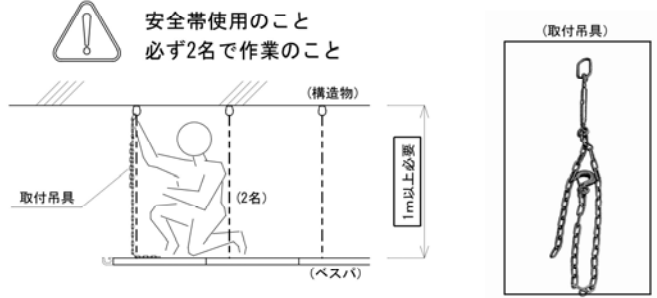


4. 出入りを揃え、架設済みベスパに密着させ、固定蓋をセットする。

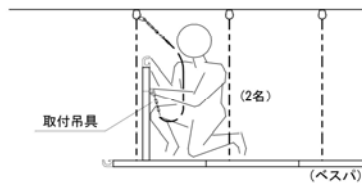


高所作業車を使用しない場合

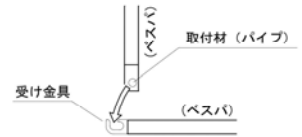
1. 架設済ベスパのチェーン吊具に『取付吊具』をセットする。



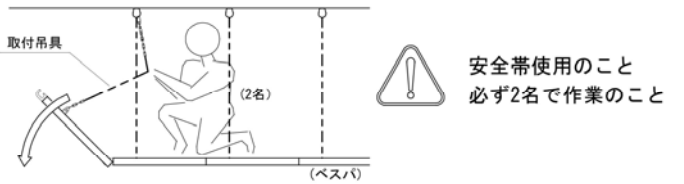
2. 架設するベスパを先端付近に移動し取付吊具を取付ける。



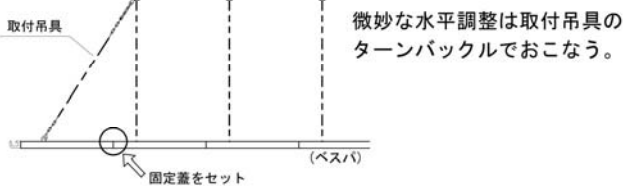
3. ベスパを先端部へ異動し架設済のベスパの受金具に落とし込む。



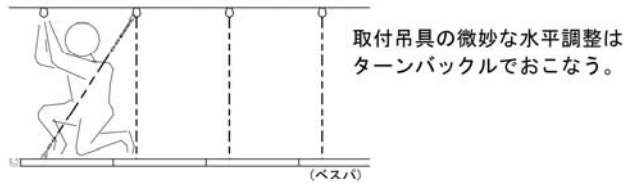
4. 取付吊具を引張りながらベスパを倒す。
倒したベスパが水平になるように取付吊具の長さを調整しておく。



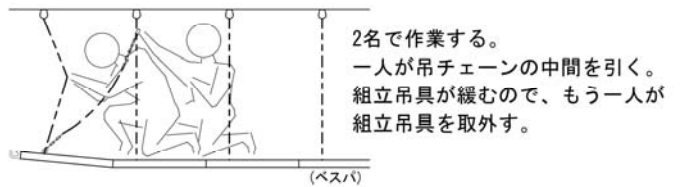
5. 出入りを揃えて固定蓋をセットする。



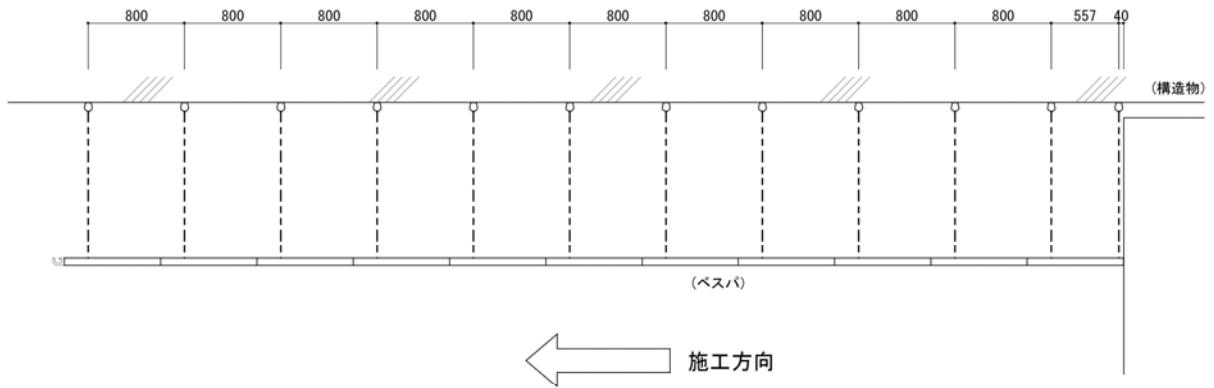
6. 架設したベスパに移動しチェーン吊具を取付ける。



7. 吊チェーンをベスパに取付ける。
8. 取付吊具を取外す。



チェーン吊具の設置間隔



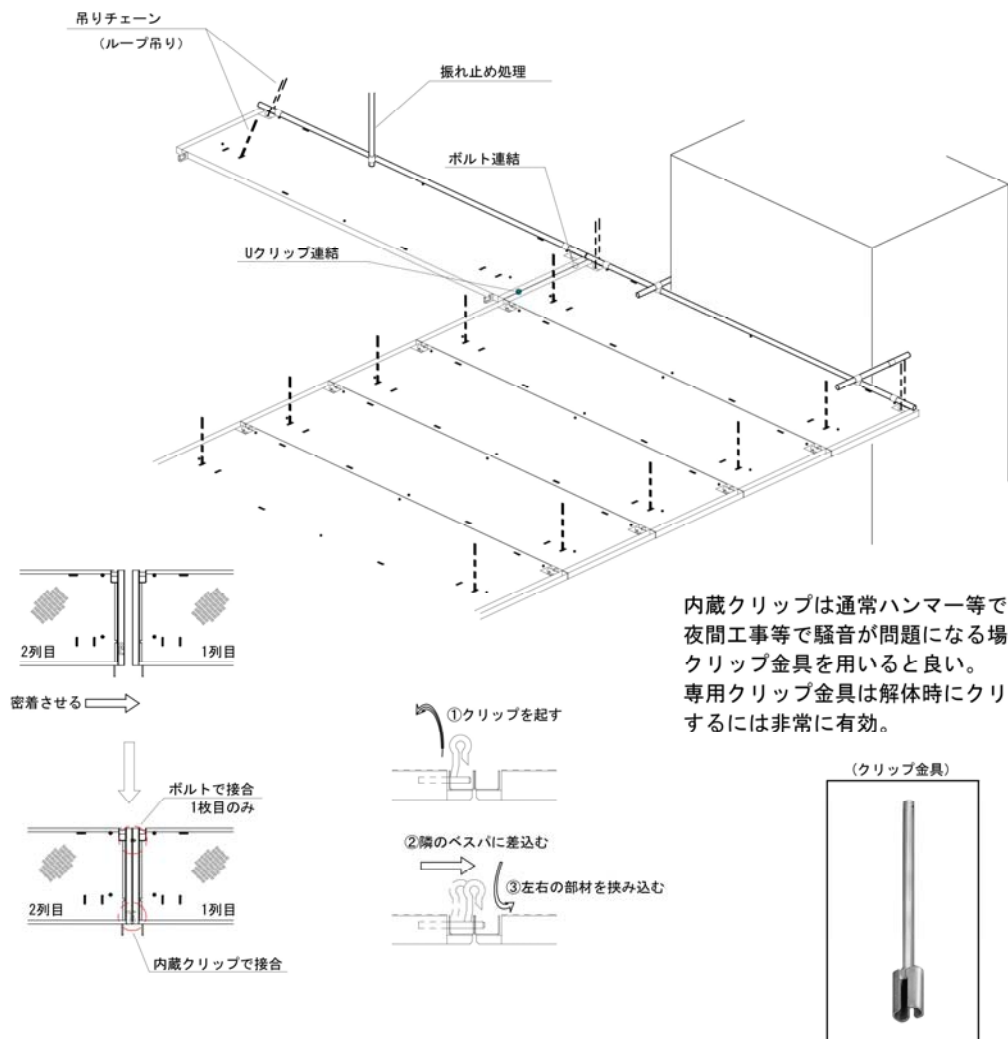
コンクリート構造物に設置する場合は、W1/2のナットアンカーを使用してください。

* 鉄筋等の障害物で設置できない場合は、手前側に避けて下さい。

2列目の1枚目パネルの架設はチェーン2本を使って吊り下げる。

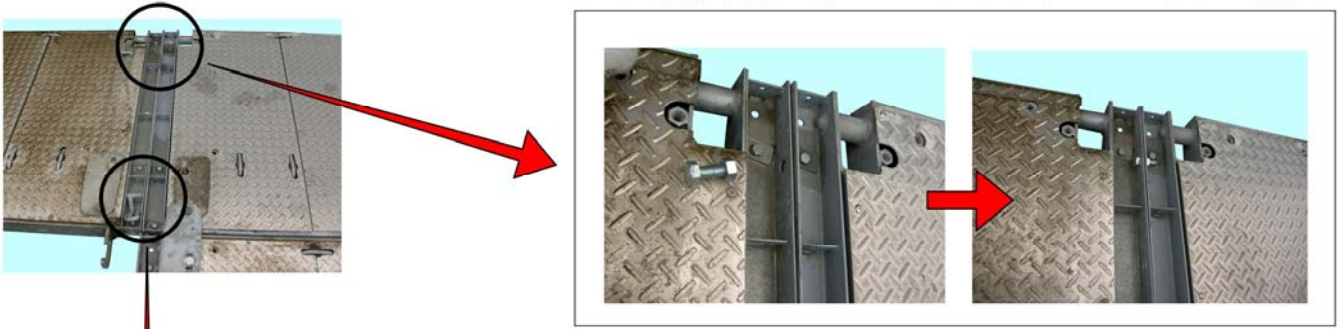
1列目との連結は●印の内蔵クリップ (Uクリップ) と○印ボルト (W1/2かM12) にておこなう。

構造物等にパネルが振れないように固定する。



内蔵クリップは通常ハンマー等で叩き込む。夜間工事等で騒音が問題になる場合は専用のクリップ金具を用いると良い。専用クリップ金具は解体時にクリップを開放するには非常に有効。

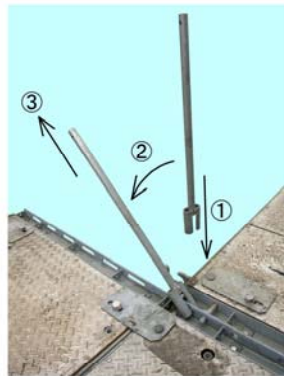
ボルトで接続（1枚目のみ）・・・ボルトはW1/2 or M12 首下35mm程度がよい



内蔵クリップで接続・・・専用のクリップ金具を使用する。



クリップ金具の使い方

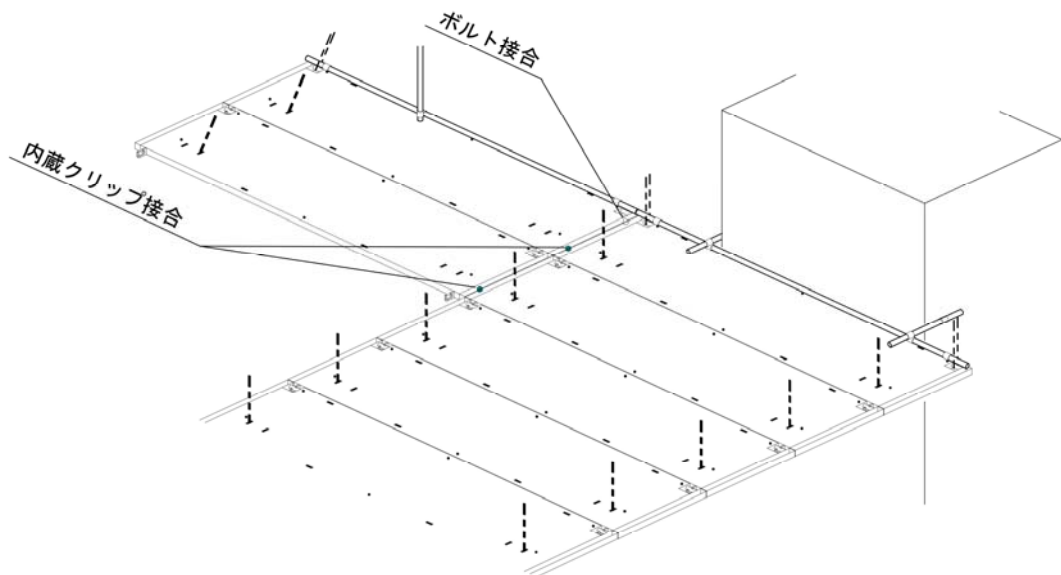


- ①：クリップ金具を内蔵クリップに差し込む
- ②：クリップ金具を倒し内蔵クリップで左右のベスパを挟み込む
- ③：クリップ金具を抜く

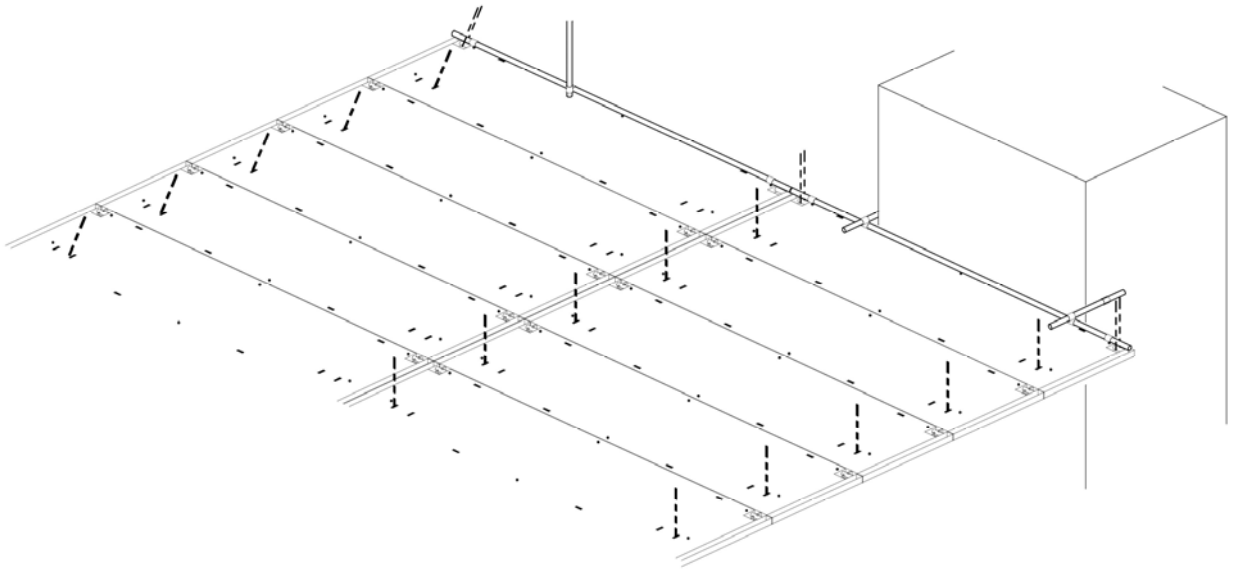
内蔵クリップは叩いてもセットできるが、クリップ金具を使用の方が格段に効率的です。解体の際には特に必要となります。

1枚目パネルの受け金具へ2枚目の取付材を引っ掛け架設する。

1列目との連結は●印の内蔵クリップ（Uクリップ）のみでおこなう。
隣り合うパネルに密着させ固定蓋をセットする。

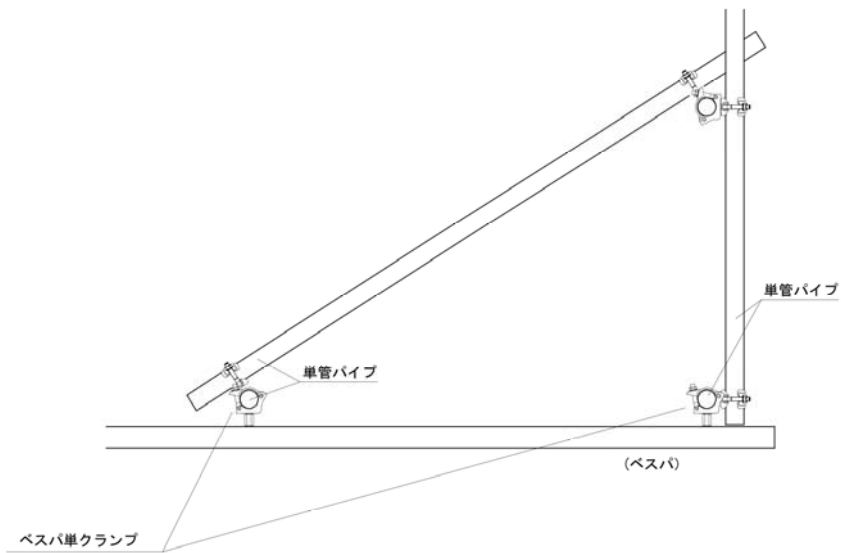


2枚目の要領で3枚目以降を架設する。



アサガオ、手すり等の組立

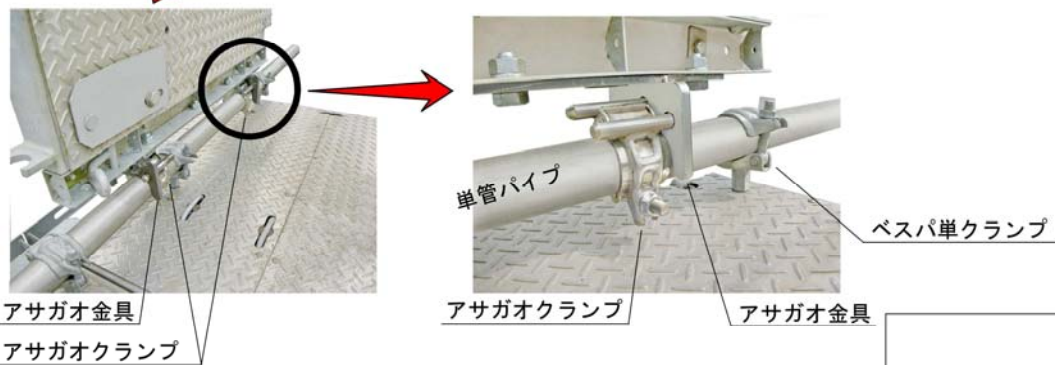
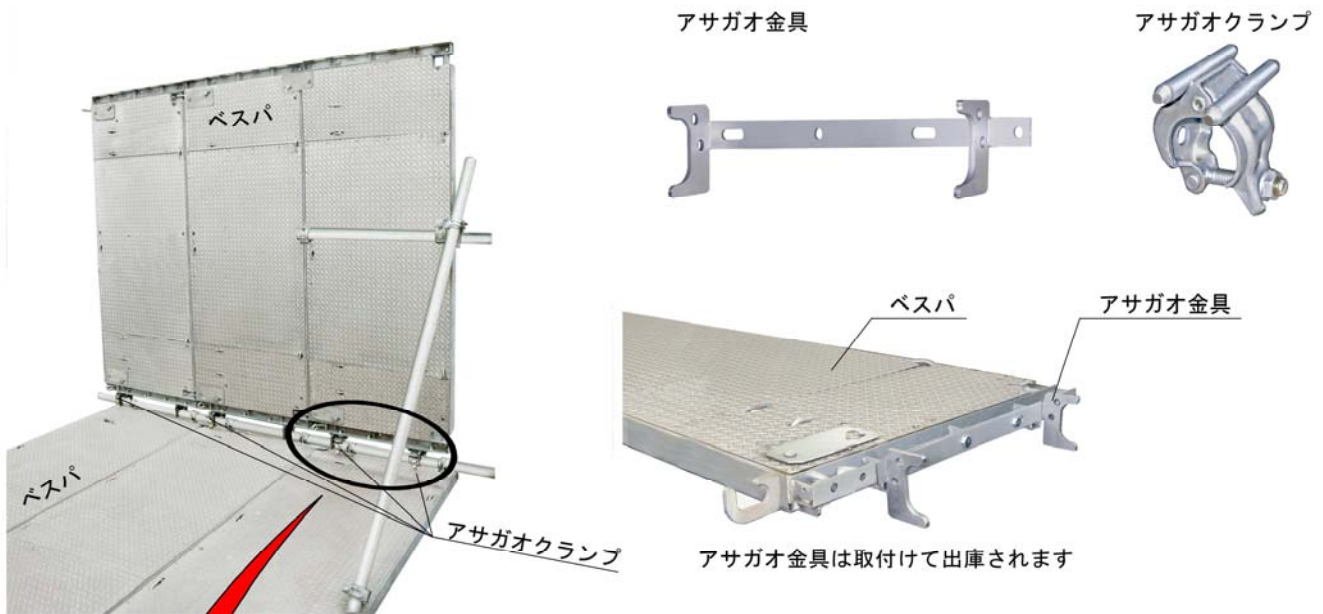
ベスパに内蔵された固定用高ナットにベスパ単クランプを取付ける。(径21mmのスパナ使用)
ベスパ単クランプに単管パイプをながし、そこへアサガオ建地、控えパイプ等を取付ける。



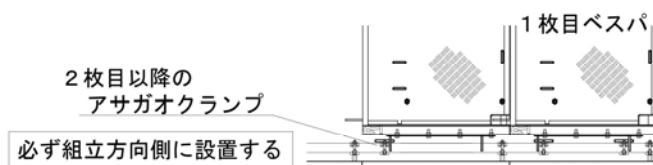
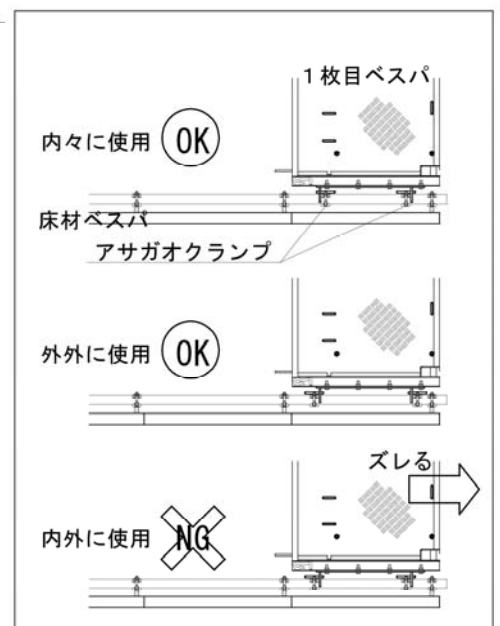
(ベスパ単クランプ)

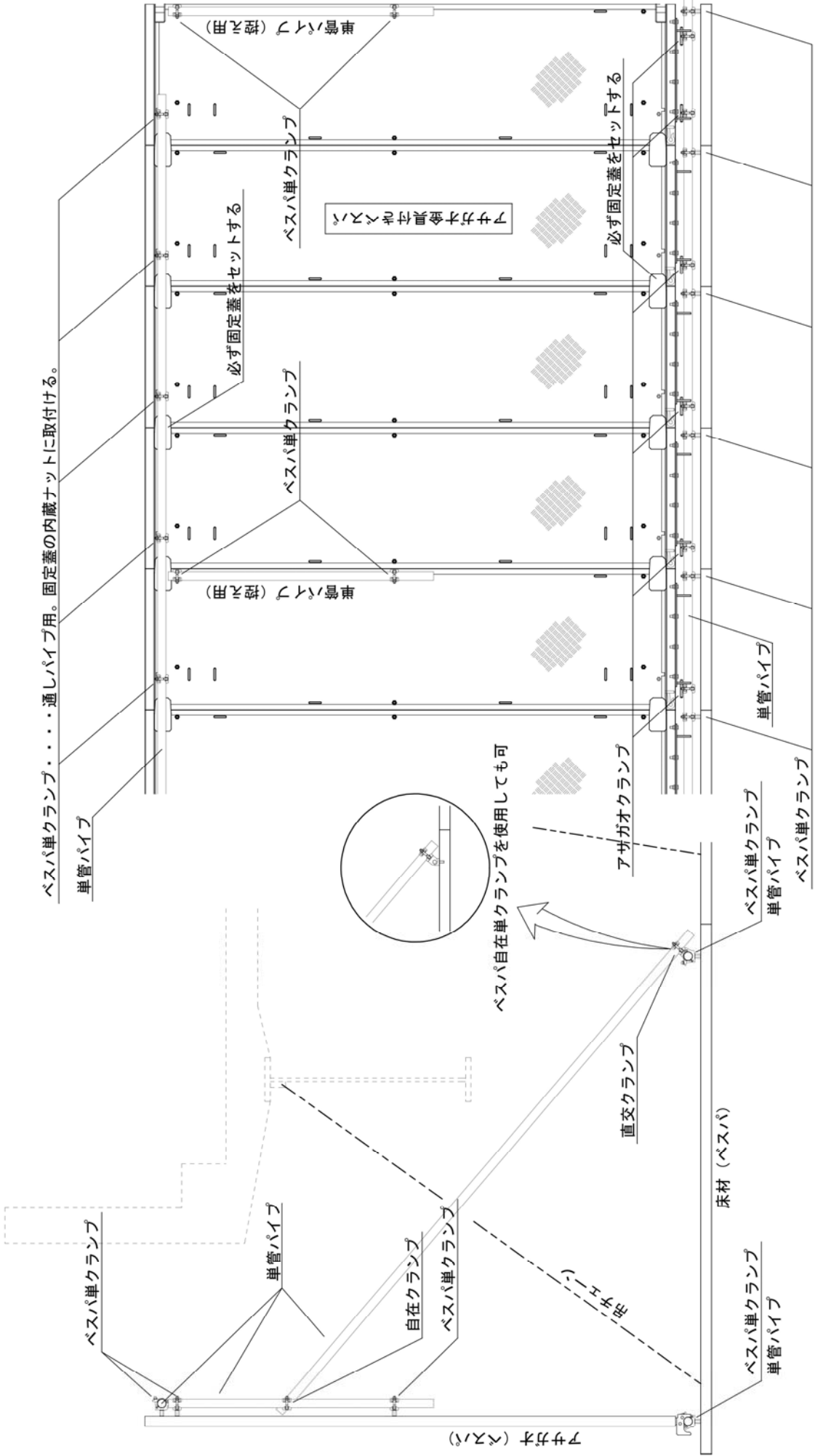


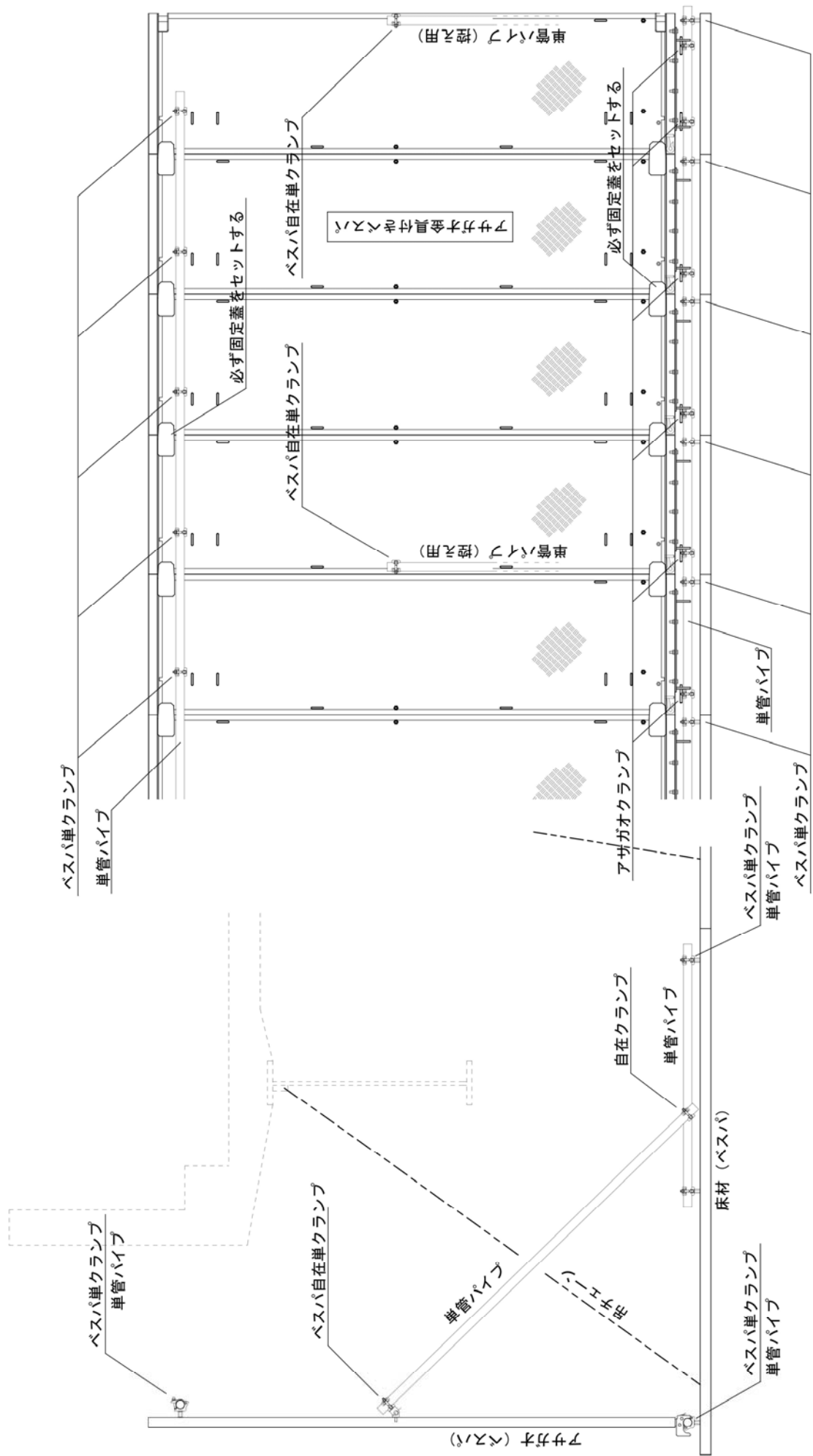
ベスパパネルを使ってのアサガオ

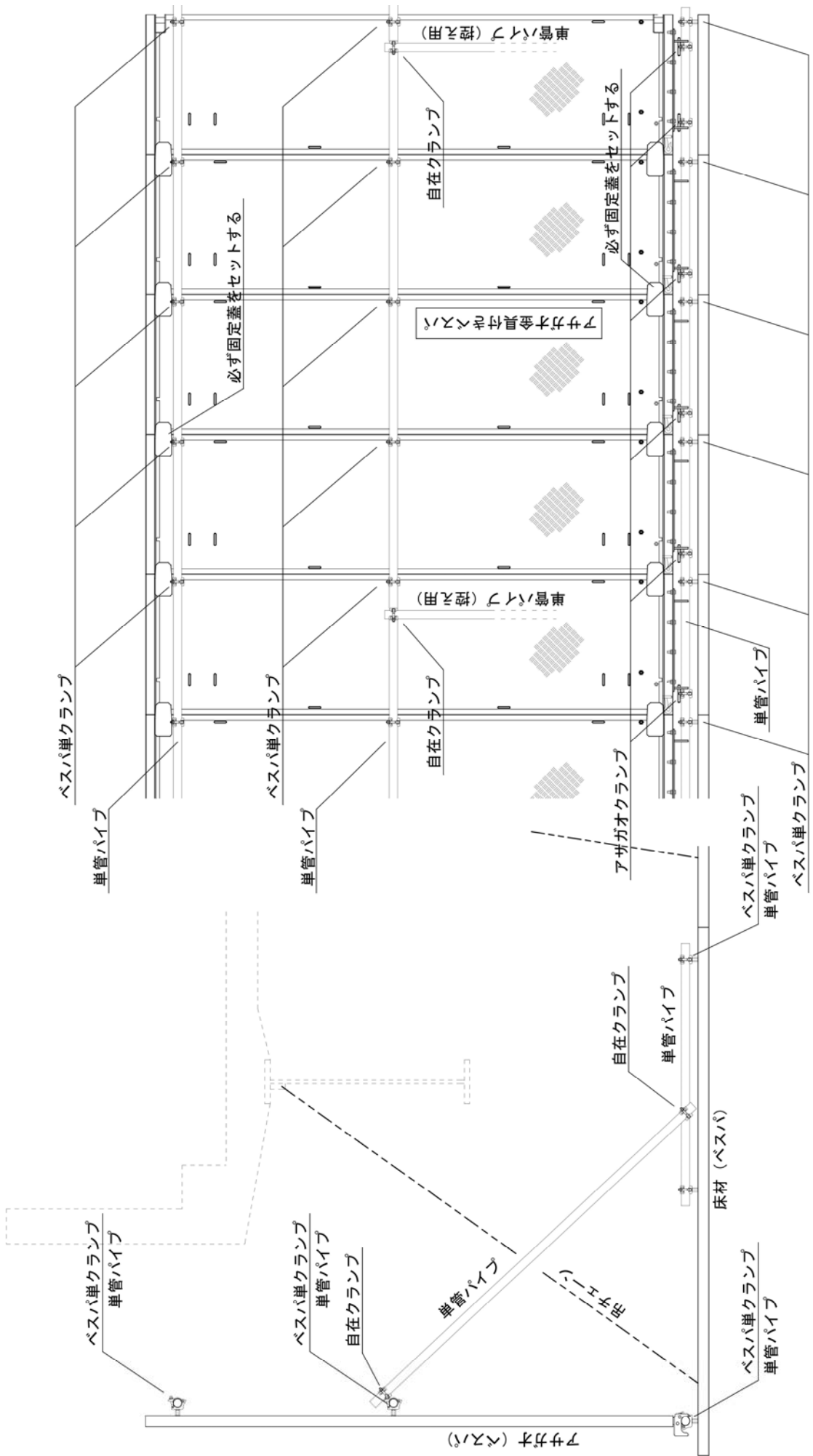


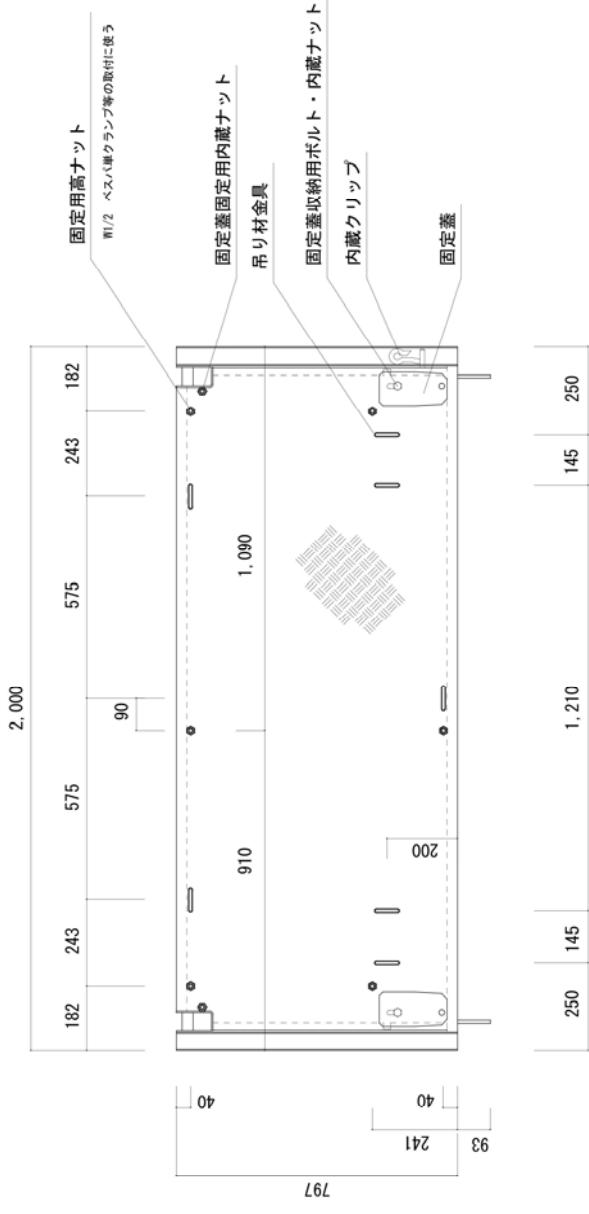
- 床面をベスパにより組立てる。
- 床面の側面単部にベスパ単クランプを取付け、単管パイプをながす。
- アサガオ金具を取付けたベスパを、単管パイプの所定位置に配置する。
 - 2人で作業すること。
- 1人がベスパを保持し、もう1人がアサガオクランプを取付ける。
 - 1枚目のパネルには2個のアサガオクランプを使用する。
 - 2個のアサガオクランプはアサガオ金具の内々あるいは外外に使用し、ベスパの横ズレを防止する。(右図)
 - 2枚目以降は組立方向側に1個使用する。(下図)
- 1枚目のパネルには必ず倒れ止めの控えパイプを設ける。
 - 控えパイプは状況に応じ配置する。(最大でもベスパ5枚毎に1箇所は必要)
- 2枚目以降のパネルは床面の組立と同様に受け金具に取付材を噛み合わせ、固定蓋をかぶせる。



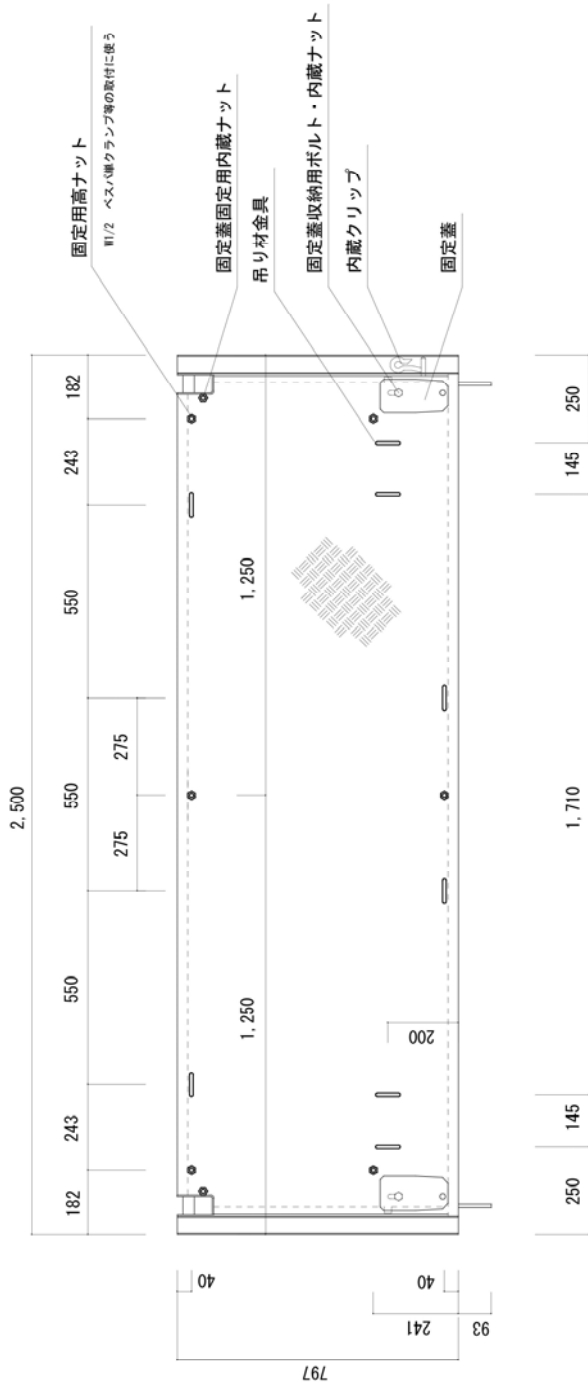




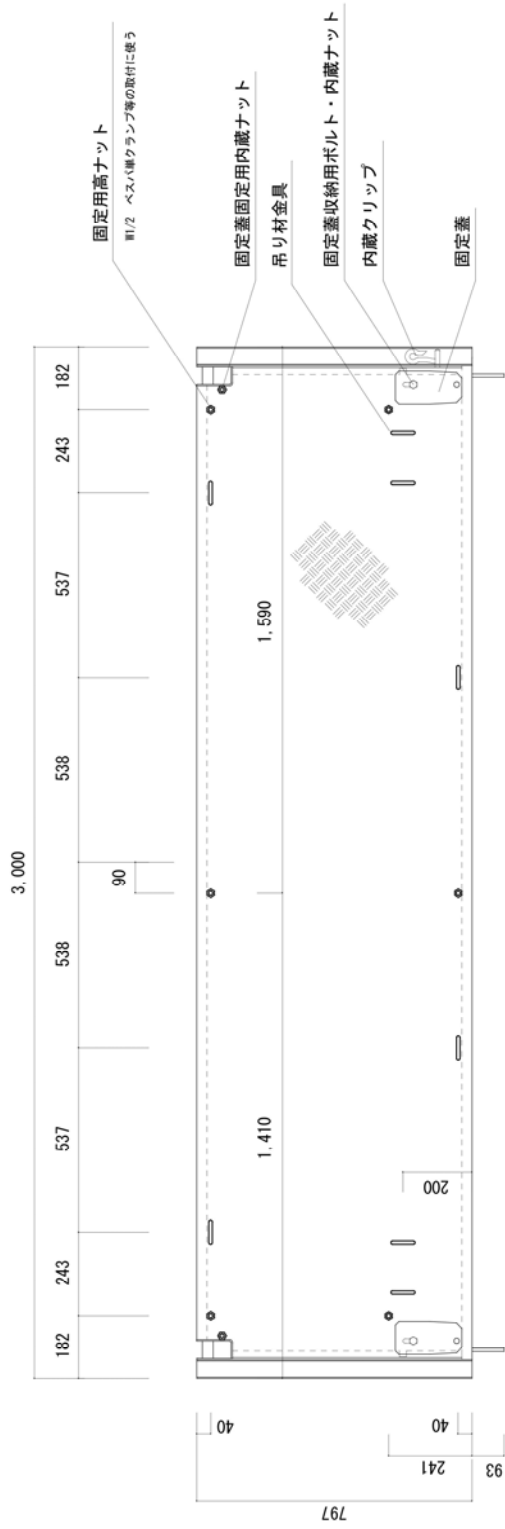




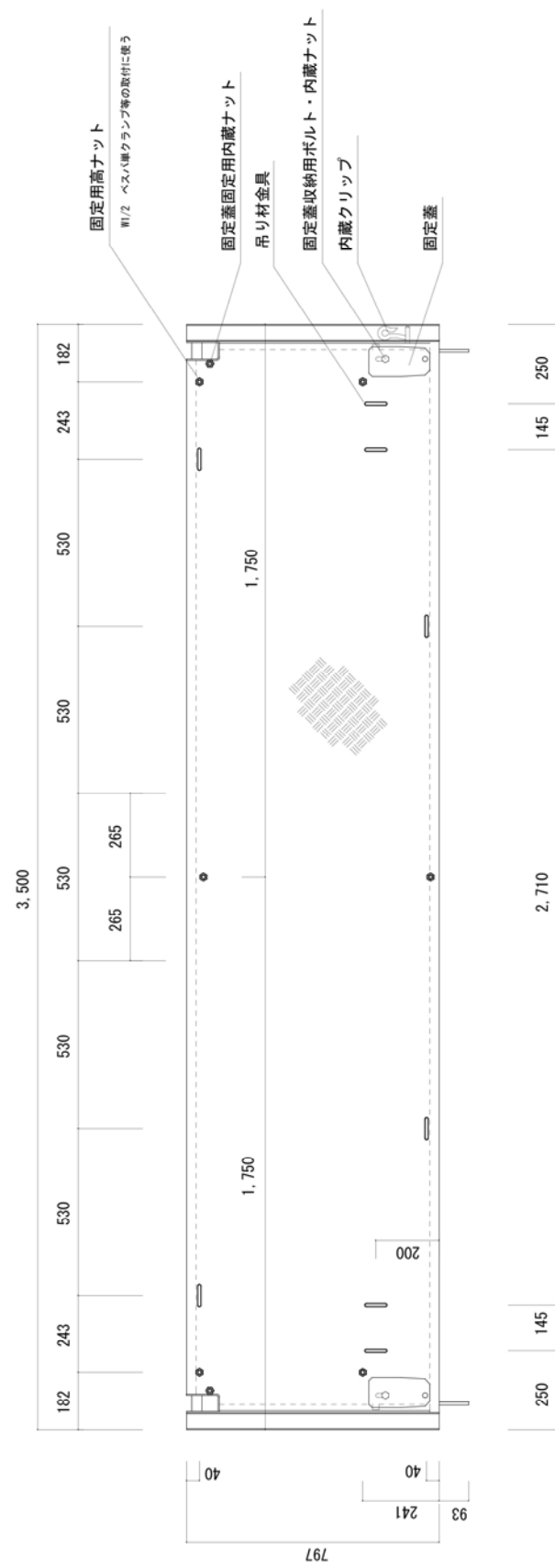
BSP-2008



BSP-2508

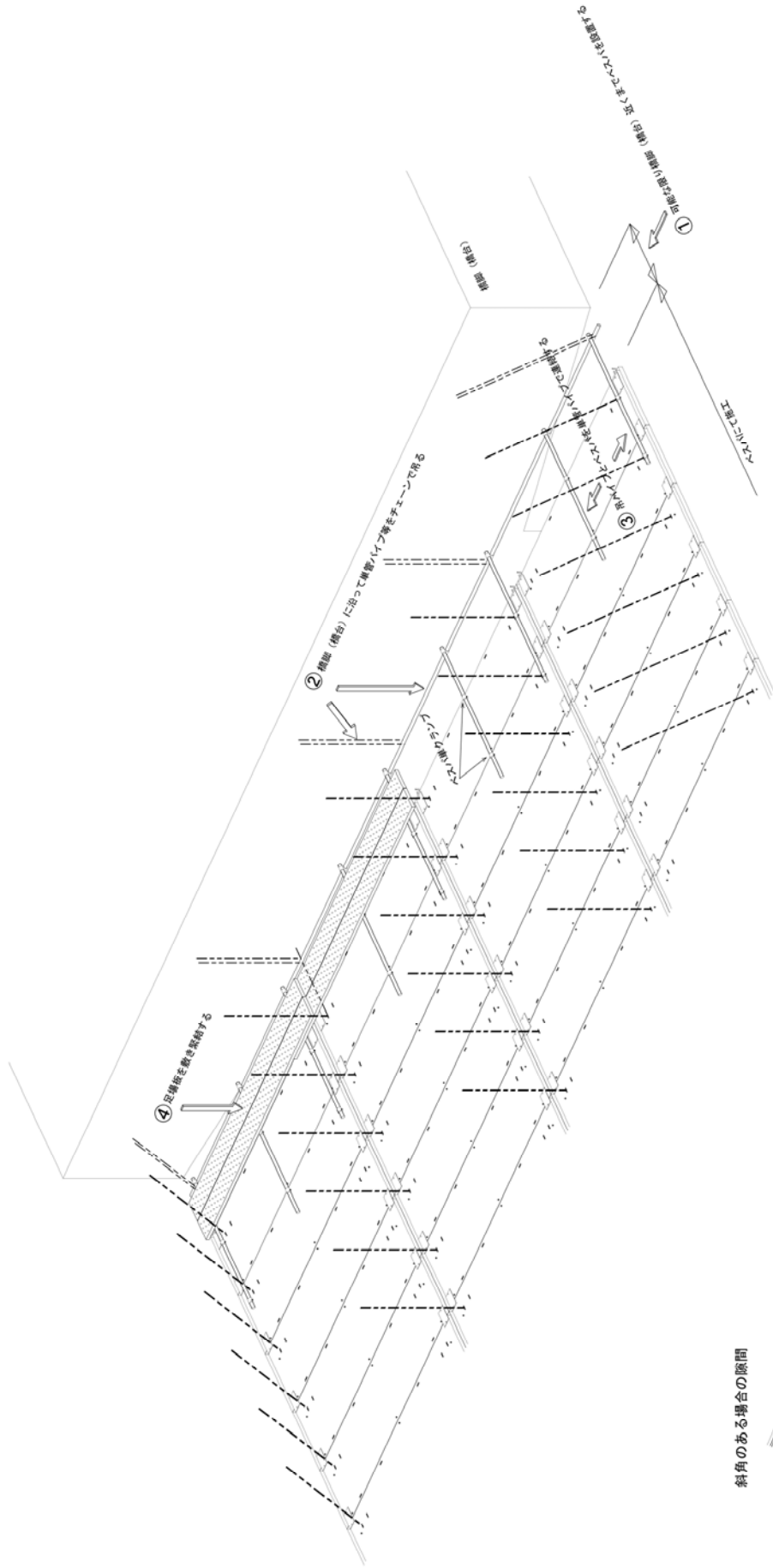


BSP-3008

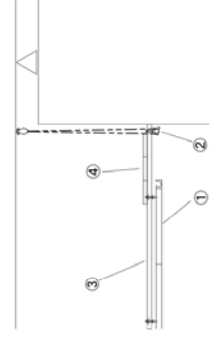
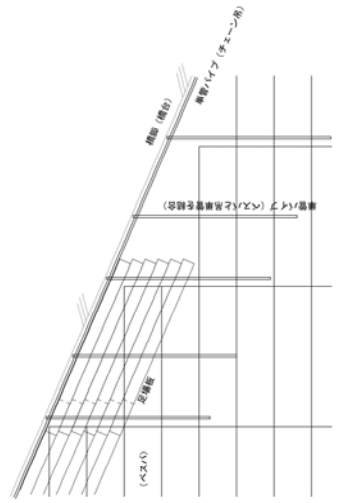


BSP-3508

橋脚（橋台）部の隙間対策



斜角のある場合の隙間



● 許容荷重を守って下さい
ベスパ

等分布荷重

	面積 m ²	ループ吊の場合 kg/m ²	シングル吊の場合 kg/m ²
	1枚当り	(430 kg)	(240 kg)
BSP-2008	1.6	269	150
BSP-2508	2.0	215	120
BSP-3008	2.4	179	100
BSP-3508	2.8	154	86

線中央集中荷重

* 短辺方向の線荷重

	長さ m	ループ吊の場合 kg/m	シングル吊の場合 kg/m
	1枚当り	(330 kg)	(240 kg)
BSP-2008	0.8	413	300
BSP-2508			
BSP-3008			
BSP-3508			

点集中荷重

110 kg (点面積 150cm²)

吊チェーン

ループ吊 430 kg

シングル吊 240 kg

● 養生をして下さい

塗料、樹脂等が付着しないように、ベスパ、チェーン、吊具をしっかりと養生して下さい。

付着があった場合、清掃費が発生致します。

エポキシ系の樹脂が付着した場合、清掃不可能で廃却になる場合もあります。

